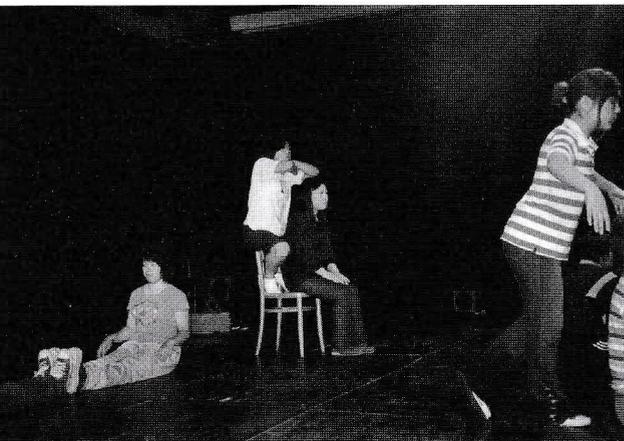


stage



俳優コースの受講生の演技

青森県舞台芸術学校八戸集中講

座が8月9日から3日間、スペースベンと八戸商工会館を会場に行われました。この講座は青森県各地を回って今年で3年目の企画ですが、今回初めて八戸で開講され、本当に良かったと思います。今回はそこでの出来事をお伝えします。

講座は俳優コースと照明コースの2つに分かれて行われました。私たち八東1年生が参加した俳優コースは、商工会館2階の会議室で行われました。講師の高山先生は数々の舞台を手かけ、テレビドラマにまで出演した方です。この超個人的な先生と10人の愉快な受講生たちと楽しく学ぶことができました。受講生の中にはわざわざ青森市や、遠く東京都から来てくれた方もいました。そこまでこの講座は価値のあるものなのですね。

照明コースの方は、中村昭一郎先生のご指導のもと、スペースベンを会場に、ろうそくの明かりで照らしたりして、基礎から勉強していたようです。最終的には、3日間で1つのお話を作り、俳優コースの受講生の演技

と照明コースの受講生による照明とを合わせて、最終日にスペースベンで発表をすることになっていました。

授業を始める前に、高山先生はこの3日間の目標を話してくれました。「この講座ではせっかくだし、他では学べないようなことを学んでほしいな」とおっしゃって

いたとおり、講座では本当に他ではできないことをたくさん身につけられたと思います。特に、他ではやらないだろうと思ったことは、「モノ」になることでした。

「モノ」の気持ちになって、考え動き、表現する。これは、いざやってみるとかなり難しいです。

私たちは、この3日間でいろいろな「モノ」になりました。「1週間カレーの入っている鍋」になったり、「アイスクリュー」になったり、「金魚の餌」にも。実際

「モノ」が何を考えているのか、というのには結局その「モノ」でない限りわかりません。本当にその「モノ」になれるわけではありま

せんが、「私はコレだ」と思いこんでイメージすると、意外と観ている側には伝わるものなのですね。その「モノ」はそんな動きをしないのに、「あ、ソレだ」と

思うこともありましたが、他の方々も思ったことでしょう。「モノ」になるのも意外と悪くないですね。次に生まれるときは「オープントースター」もあり？ 私たちがいろいろな「モノ」になったのはそれをもとに1つのお話を作るためでした。みんながそれぞれ「ブタの貯金箱」や「ホウキ」、「テレビ」など、自分達が演じてみたい「モノ」をあげていき、全てをつなげていきました。そしてできたお話は……いろいろ

な夢を持った「モノ」たちが「あきらめない」、「信じ続ける」、「幸せは自分の気持ちの持ち様」ということを知り、台風で「飛ばされている」ことを「自分で飛んでいる」と思った時には夢がかなう、という感じです。

このお話で音響はほとんど使わずに劇をしました。つまり、必要な音は自分たちで出すことにしたのです。風の音、海の音、ウミネコのような自然にある音、心拍音、空気を切る音のような擬音。今回はこのくらいの音響に挑戦しました。自分で音を作る、ということはもちろん初めてのことでした。とても難しいことでしたが、自分たちで全てを作るのは本当におも

また、高山先生は、「舞台の上なら何だってできる」ともおっしゃっていました。実際、私たちは舞台上で自分だけの空を飛ばしました。そして、空を飛んでいる「ように見える」技術も学びました。この技術だけでも、そう見せることは可能ですが、演じる側は飛んでいる「フリ」をしていることになり

ます。やはり、自分たちが「飛んでいる」という「気持ち」が大事なことです。そうでないと、こっちは、相手もつまらないと思います。そうです、舞台の上なら、

お話の途中でもキャンペを(堂々と)取り出して読んでもいいのです。今回、かなり台詞が長かったのですが覚えきれなかった「梅干し」さんがこの荒技に挑戦しました。個人的にこういうのは好きですね。

この3日間では、本当に他では学べないことをたくさん学べました。その中でも一番大きかったのは「気持ち」でしょう。何をすることも気持ちよければ、どんなに違う動きでも何かが伝わります。たったの3日間でも、もう会えないかもしれない方たちもいるので、別れば本当に名残惜しいものですが、いい経験ができたと思います。講師の高山先生、中村先生、スペースベンさん、本当にありがとうございました。また今回のような機会があればぜひ参加したいと思います。

「私が舞台で学んだこと」

演劇空間スペースベン

〈文・八戸東高校1年・橋本麻子〉

10月のFriday Amusement Negative Shop

■10月4日(第452回)
テアトロ:ペー公演「メビウスの目眩」
開演/19:30
題案:長尾広海 脚本:紫葉実
演出:紫葉実、田中勉
出演:安達良春、紫葉実ほか
※この作品は、青森県文化祭参加作品となります。
5日(開演/14:00、17:30)、6日(開演/14:00)も公演あり。

■10月11日(第453回)
■10月18日(第454回)
■10月25日(第455回)
未定

○FANS番外篇
10月12日(土)
西尾まさきブルスライブ
開場/18:30 開演/19:00 入場料/2,000円

※全て午後7時30分～、料金500円
チケットはスペースベンにて販売

下大町
駐車場
至百町
八戸市
中里病院
生命ビル
西町書店
Space BEN

駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。
(近くに西町書店駐車場有り)

☎ スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎&FAX 43-9876

※スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

※スペースベンでは、毎週月曜日午後7時30分から、沼尾美也子さんによりジャズダンスレッスンを開催しています。一度見学にいらして下さい。

FANSでは、脚本を広く募集しています。何か表現したくても踏み出せないあなた、一度「物語」を書いてみませんか? FANSでは、そんな方の思いを大切に舞台にのせてみたいと思っています。

☎ スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>
Eメールアドレス fans@spaceben.com